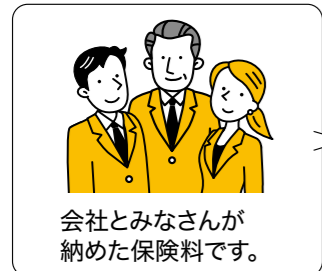


一般勘定

収入

支出



健康保険収入
1,565,003千円
82.2%

調整保険料収入
23,829千円 1.3%

国庫補助金収入
817千円 0.0%

財政調整事業交付金
1,600千円 0.1%

繰入金
250,000千円 13.1%

雑収入
40,708千円 2.1%

介護勘定受入
20,972千円 1.1%

保険給付費
793,825千円
41.7%

事務費
45,508千円 2.4%



納付金
915,522千円
48.1%

高齢者医療費のために約5割を支出しています



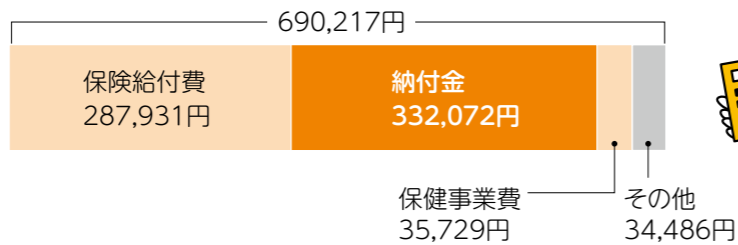
保健事業費
98,505千円 5.2%

財政調整事業拠出金
23,830千円 1.3%

連合会費・その他
1,128千円 0.1%

予備費
24,611千円 1.3%

支出を
1人当たり
でみると…



予算の基礎数値
(一般勘定)

●被保険者数	2,757人	●平均年齢	43.68歳
●平均標準報酬月額	408,000円	●扶養率	0.86人
●総標準賞与額	4,794,423千円	●前期高齢者加入率	2.26%

介護勘定

収入

支出

健康保険組合では市区町村に代わり、40歳以上の人の介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納めています。高齢者の増加に伴って介護納付金も増加しており、収入支出予算額は2.7億円となりました。

介護保険収入
260,325千円

繰入金
10,000千円

雑収入
1千円

介護納付金
237,700千円

還付金
50千円

一般勘定繰入
20,972千円

予備費・その他
11,605千円

2022年度 予算のお知らせ

収入支出予算額

健康保険

19億 293万円

介護保険

2億7,033万円

保険料率

※健康保険は調整保険料率0.13%を含む

	被保険者	事業主	合計
健康保険	3.7%	5.0%	8.7%
介護保険	1.05%	1.05%	2.1%



当該健康保険組合の2022年度予算が2022年2月28日の組合会において可決されました。2022年度は、国へ納付する介護納付金を賄うため介護保険料率の引き上げ(1.76%⇒2.1%)を行います。健康保険料率については変更ありません。

おもな収入

●健康保険料収入

健康保険組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。2022年度は15億6,500万円といたしました。

●別途積立金繰入

保険料収入だけでは支出を賄えないため、別途積立金より2億5千万円を繰り入れます。

●介護勘定受入

2021年度に介護保険の財政支援のために支出していた2,097万円が返還されます。

●その他

健康保険組合が負担している健診関連費用のうち、事業主負担分を事業主へ請求しています。

2022年度は4,313万円を見込んでいます。

おもな支出

●保険給付費

みなさまがお医者さんにかかったときの自己負担(2〜3割)以外の医療費や、出産・傷病時の各種手当金も保

険給付費から支払われています。2022年度は7億9,383万円を計上しました。

●保健事業費

健診や特定保健指導、各種健康づくりの費用として9,850万円を見込みました。

2022年度はさらなる受診率・参加率向上を目指すとともに、医療費分析等により健康課題の抽出にも取り組めます。

また、被扶養者向けに健診受診案内パンフレット配布を予定しています。

●各種納付金

健康保険組合では高齢者のための医療費を国へ納付しており、2022年度は65〜74歳の医療費(前期高齢者納付金)として4億9,780万円、75歳以上の医療費(後期高齢者支援金)として4億1,770万円支出します。納付金の総額は9億1,552万円で支出の約48%を占めており、健保財政にとってもっとも大きな負担となっています。